

第2グレード

鉄棒： a. 振りの演技： 跳んで懸垂。腕を伸ばして振り。蹴上がり。前方に体を倒してから起き上がったもも掛け回転（休止）。前に出した足を後ろに伸ばす（休止）。腕支持回転して鉄棒を前にして着地。

b. パワー演技

順手握りで懸垂、体をゆっくり引き寄せる。両足を抜き、鉄棒を背にして逆上がり。逆手に握り替える。頭を下げて鉄棒を背に水平懸垂の後に腕伸ばし懸垂。両脚を抜いて前方支持、体の向きを戻す。腕の曲げ伸ばしを一回。跳び降り。

平行棒： a. 振りの演技： バー間の前に立ち、助走をつけて跳躍、腕支持。後ろに振ってから向き直り、腕支持。後ろ向き回転して腕支持。上腕で振り上げり。続いて前に振って向きを変え両手を前に開脚姿勢。両脚の中に入れ、前に跳びながら半回転して外に向く。

b. パワー演技： バーの間を前に立ち、跳躍して伸腕支持。屈腕獅子移動して中央へ。体を上げて腕支持、体を下げると同時に両腕を伸ばして懸垂支持。4分の1回転して一本のバーに懸垂。足を引き寄せて足裏をつける。前方に逆上がりして脇支持。後ろの棒の上に足を伸ばしてから平行棒間に着地。

鞍馬： a. 振り 鞍馬横に向いて立つ。体を水平に浮かせ、前方支持。左足開脚交差、次いで右足も。後方に右回転。左脚を戻す。右へ4分の1回転して足交差、鞍馬に騎乗。鞍馬後部で体の向きを変える（右脚は逆手に、左手は鞍馬後部で支える）。b. 横に立ってから助走をつけて跳躍。半回転して開脚跳び。

演技は左右入れ替えて再度行ってもよい。今後の変更の権利は我々が留保する。

規定演技の練習ですぐに判明したのは、体操選手の体操能力に対して演技課題があまりにも高度に設定されたことである。指導者たちの異議で、いくつかの負担軽減のための改良がなされたが、決められた時間内には到達不可能だと思われるような演技も残された。それで、体操競技への参加者が減り続けることにもなった。さらにまた、優勝杯を目指してのシュラークバル競技がずっと開催され続けており、多くの人を体操から遠ざけた。その上、何日も雨が降り続き、運動場の土地がぬかるみ、この時期の多くの貴重な時間が失われた。また各内務班の参加申請名簿の配布も、期待されたほどの効果がなかった。参加申請名簿への記入はごくわずかで、不可解な消極的抵抗を示しているように思われ、スポーツ委員会は体操祭の開催を断念する決定をしなければならなかった。

「古参体操チーム」だけが、何週間も前から準備してきたことを実行に移した。10月6日の日曜日、自分たちの体操祭を開催した。この様子については、『バラッケ』の1918年10月27日号に掲載されている。

板東俘虜収容所における古参体操チームのミニ・ドイツ体操祭

かつて、古代ギリシア人が平和な競争のためにオリンピアに集まったように、当収容所でも10月6日の日曜日の朝、男たちの小さな集団が集まった。彼らは質素な櫛の葉で作られた栄誉の冠を目指して、同じ技を戦い合おうとしていたのである。熱い雲がたれ込める中、午前8時に小さな体操チームの9名の選手が平行棒の前に並んだ。空からは何度もざあーと雨が落ちてきそうになり、憂鬱そうな視線が雲のベールの方に向けられた。お日様が機嫌のよい顔を見せることはなかったけれど、全体を通して言えば、競技は強い雨に見舞われることなく、すべての器具の演技を滞りなくやり終えることができた。体操選手はみんな、真剣にそして大胆に演技に

臨んだ。関心のある人が数人、競技の場に来て、演技を見守っていた。プリンツ一等海砲兵曹とレンケル一等海砲兵曹の2人が審判をつとめ、真剣な顔つきで個々の演技の評点をつけていた。プリンツはかつて賞を目指して戦ったこともある審判であるが、ときおり静かな笑みを顔に浮かべていた。彼は数多くのドイツの体操祭でこれまで幾度も栄誉の冠を獲得しており、喜びを静かに表しながらも年長者の体操演技の評価をすることができるのである。もうひとりの審判であるレンケル一等海砲兵曹は、生粋のヴェストファーレン人が真剣で高尚なものごととなるとそうなるように、いつまでも真剣な様子を変えなかった。10月6日は大変な日で、時々わか雨が演技者の顔に当たったりした。しかし、政治的な状況も板東の天気も暗いものであったにもかかわらず、だらけたりはしなかった。意図されたことは最後の目標に至るまで実行された。そこには、かつてドイツ民族にとってつらかった時代に組み立てられた偉大な作品について、ささやかな仕事をなしたという意識が伴っていた。午前11時30分に競技が終了し、選手たちは意気揚々と戦いの場から俘虜の寂しい小部屋へと帰還していった。部屋に戻ってからも、いくつかの点について体操の検討がなされたのであった。

その日の夜に飾りつけをした部屋で競技の参加者を迎えるために、午後には古参チームの面々が手を忙しそうに動かしながら、上の浴場の飾り立てを行った。その後、所定の時間に、ごく狭い仲間内で楽しい数時間を過ごすために体操選手たちが集まってきた。最初の音楽の演奏と真面目な歌が終わると、表彰式に移った。全員目は1位の選手に注がれていた。何人かの内なる声は、おそらく競技のときに目を覚まして、もしかして俺も賞を取ったのだろうか、と尋ねていたかもしれない。全員が賞を獲得したが、その内訳は次の通りである。

- 1位 125点 シュラーダー一等兵
- 2位 112 ½ エガート副曹長
- 3位 112 ヘンチェル副軍曹
- 4位 111 ½ ツィンマーマン副曹長
- 5位 100 ½ エーラース軍曹
- 6位 94 ½ ヴィレ海兵
- 7位 94 ボフニヒ海砲一等兵曹
- 8位 93 ½ フライエンハーゲン二等機関兵曹
- 9位 86 ½ P. ケーヒニ志願兵

澆漑と、敬虔に、喜ばしく、自由に。これは真のドイツの体操人のモットーであり、体操の父、老ヤーンが困難な時代に真剣な活動をしながら、青少年、ドイツの体操人のために提示してくれたものである。このモットーをドイツ体操界は守ってきたし、これからも守ってくれるだろう。これまでに至る歳月間に、物事を深く考え、国民の力と祖国の利益のために働くドイツ人の男たちは、このモットーに従って規定を制定した。ドイツ体操界では、この規定の定める規則に従って正確にそして真面目に演技がなされ、またなされなければならないのである。それによって国民の力を維持するための大きな仕組みが、本当に繁栄するのである。ドイツ体操の趣旨に則って演技をする体操選手は、くだらぬものを手にしたり、他人の武器で演技をしたりはせず、祖先に忠実に、祖国の同胞の利益のために仕組みを拡大する手助けをするのである。体操選手の演技の中には、高貴で騎士的な相貌があり、行為を人が感じたり思ったりする以上の高みへと導くのである。本当の体操選手の中には、たいてい健康な精神が宿っている。この2つ、力と精神はこの演技のために不可欠なものである。この2つは我々にとって常に役立つものであるが、とりわけ生活の嵐が我々の内面をしぼ

しば激しく揺さぶる今のような厳しい時代にはそうである。

たとえどれほどの大波が来ようと、するべきことを果たせば、その後数時間を状況と時代に応じて楽しく過ごし、なし遂げた仕事をともに称えあうのもいい。まさにだからこそ、うまく体操演技がやれた後に楽しくみんな集まることも、暮らしの中での他のどんちゃん騒ぎよりずっと高い価値があるのだ。体操選手が古い風習と習慣にしたがって酒のグラスを人に勧めたからといって、彼らに腹を立てたりしないようにしよう。それはドイツ人のちょっと悪い遺伝なのだ。だから「ゲート・ハイル」（がんばれ）と叫んで許してやろう。

収容所の記録者は、次のように記している。

雨の天気だと、予定された大規模な収容所体操祭が水に流れても不思議ではない。それだけに雨などの事情にもかかわらず一週間前の日曜日、「古参チーム」が体操祭の自分たち担当部分を忠実かつ勇敢にこなしたことは賞賛に値する。体操競技の9人の参加者は、全員が12種目の男子体操競技で決められた最低得点の85点以上の得点を獲得し、勝者の栄冠と表彰状で報いられた。シュラーダー一等兵が125点で最高点だった。夜にはきれいに飾られた浴場（ここの芸術的な活用、とりわけ音楽の活用は今でも当局から規制されている）でビールを飲んだが、ここでも全チームが一丸となって体操がなされ、ビアグラスをもって徒手体操がなされ、直立不動の姿勢でのなごやかな祭りの仕上げをした。

体操祭が中止になった原因には、チームの再編によって体操選手の多くは指導者との結びつきが失われ、指定されたグループではあまり居心地がよくなかったといったことも考えられるかもしれない。チームのメンバー

に体操祭への参加を形式的に義務化するためには、全人格としての指導者、チームの個々のメンバーとの親近感を必要とする時期に変更がなされたのだった。

体操祭が実現しなかったのは、指導者の責任でもなかった。体操選手を自称する大勢の仲間の半数だけでも、困難を克服しようとチャレンジだけでもする気力があれば、体操祭は実現したであろうし、みんなのいい思い出にもなったであろう。

こうしたエピソードのあと、体操への参加が日に日に少なくなったのは、体操祭の失敗だけが原因ではない。雨の多い時期がまたやって来て、何週間も規則的な体操の練習が妨げられたり、スペイン風邪が到来することになり、この地の板東でも数週間前から様々なニュースを受けてその準備をしていたからでもあった。そして祖国からの我々を打ちのめすような〔敗戦の〕報せも、少なからず影響があった。これらすべての要因が一体化して、我々を勇気のない無関心な態度にさせたのだった。

こうした状況のもと、体操コーチの気持ちも弱まり、体操コーチが体操クラブの指導から退いたことは容易に理解できる。しかし多くの人に不可解なまま残ったのは、スペイン風邪を乗り越え、1919年になって体操がまた活発になされ始めたあとでも、体操選手の指導を改めて熱心には引き受けなかったことである。再び集まった中心メンバーによって何がなされたであろう。私が思い出すのは、指導者たちの時間だけである。これがずっと維持されていれば、どれだけ多くの指導者が養成され得たことであろうか。そして後日、故郷で体操およびその表現の習熟において、何百人もの真の模範となり得たであろう。今日、やり損ったことをあとから取り返すことはできない。熱心で素質のある体操選手がこの専門家養成の機会を失ったことを残念に思うだけである。それでも、この件の責任を一方の側に一

面的にかぶせるべきではなかろう。体操選手から十分に強調されて表明された体操を続けて欲しいという希望（残念ながら、タイミングよくは表明されなかったのだが）から、板東収容所体操クラブの体操コーチは逃れることはできなかったであろう。

書記が年末にこう記している。

板東 1918年12月9日

体操は11月以降、眠りにについている。水曜日と土曜日には運動場が開けられたが、我々の体操の日にかぎって何度も雨が降り、そしてスペイン風邪がやってきた。この風邪で熱心な体操選手で久留米から来たカール・キューネが亡くなった。最後のときまで彼は体操のことを考え、発熱しながらも鞍馬のことを夢想し、夜もずっと看護していたクレメンス・フェルヒネロスキーを介して、体操選手全員と最後の挨拶をした。

よく晴れた日の午後、倦むことを知らぬ者たちが鞍馬、平行棒、鉄棒で体操をする。参加者はルフ、フォラント、フレンダー、ヴォルフ、フェルヒネロスキー、私、フェッター、そしてムックスだ。倉庫の横の新しい建物が、最初はゼーガーとキューネの死体安置所として使われたが、体操場としても使用できるようになった。ドイツの体操は新しい時代によっても押し流されるのか？見かけはきつく厳格な体操はもはや好まれない。厳格ではないイギリスのスポーツが好まれ、アメリカ式の記録の追求や数字を取り入れ、自己目的としてのスポーツ、その心情を打ち殺し、かつてはそのためにも体操した目標を目指さなくなった。「共和国」でもそうなるというのか？

そうなるかどうか、知っているのは未来だけだ。きっと揺り戻しが起こ

るだろうが、それは全体の核心をより緊密にするであろう。3ヵ月間、誰も体操のことなど考えなかった。しかし、スペイン風邪が過ぎ去り、ほとんどの病人が回復したあと、どのぐらい力が落ちたかを試すために、毎日こわごわと体操を再開した。前年8月に久留米から来た体操選手ルフとフレンダーは、久留米の圧倒的な熱狂をかなり維持しており、12月中旬、IIチームとIチームの残った人々が集まり、体操をまた計画的に始めることに少なからず貢献した。最近の6週間の圧迫から逃れ、我々全員に愛しいものとなった体操に力と生きる喜びを取り戻すには、そうすることが不可欠だった。我々は卓越した理解者である指導者ルフの定期的な練習で、チームの能力を向上させると同時に体操への喜びを高めることができるようになった。我々は再びこの喜びを、各自の個々の体操の時間の和やかな活動の中で見出した。体操の時間は我々の誰にとっても、楽しみと満足の源となった。その気分の独特な表現は Ms の詩に書かれている。

収容所生活の四年目は
 我々にこの体操チームを生み出した
 いつもは出不精の
 多くの人にとって幸いなことに
 学んだのは体操だけではなく
 楽しさも学んだのだった
 鉄条網の柵も忘れた
 鉄のつめのように押さえつけ
 信奉者たちは体操にいそしむ
 団結して、楽しく、熱心であれ！

いわゆる平和のホールは、夜には体操場として使われた。クリスマス休日の2日目、第6中隊の小屋に小パーティーを開くために集まった。私がこの最初の集まりを詳しく記述しようとしても、不完全なイメージしか与えることができないであろう。8人の参加者の誰もが、この詩を読む方が報告書よりもこの素晴らしいひと時を思い出すであろう。この楽しいひと時を我々に絶えず思い起させるのは、この日の夜に我々のクレメンスに習ったドイツの体操チームのモットーだろう。

グート・ハイル！ ドイツの体操チームに
男の勇気に、男の力に

この夜、何度もこの声が響き渡り、終わろうとはしなかった。

私の記憶に間違いがなければ、この8人が体操場で写真を撮ってもらったのは新年だった。撮影はうまくいった。いつになっても、この写真を見れば、この時代を思い出すであろう。1月、チームは昔からの体操選手であるオスカー・マイの加入により増強された。冬期間の体操の時間は誰にとっても、俘虜としての生活の中でもっとも素晴らしい時間である。体操場は我々にとって保養と力回復の場となった。そこでは、俘虜生活のマイナス面を忘れ、悲嘆や落胆を振り落とし、故国のどこかの体操場にいると想像しながら生活した。

その夜は、みんなの気分と体操に対する熱中を表現した真摯で陽気な詩の朗読によって楽しいものとなった。我々の時代のモットーとしては、C. フェルヒネロスキーの次のような詩が相応しい。

喜びをもって体操せよ
熱心に体操せよ
あらゆる苦悩も
体操の輪の中で流れ去る

Ms. の一つの言葉のうちに、あの体操の喜びの秘密が込められている。

「体操をするときはいつも、われわれは歌を歌い詩を作っている。

それがわれわれの人生を元気づけ、楽しませ豊かにしてくれる」。

ある人はたまたま体操の時間を怠ったこともあり、一度は本当にできなくなった。そのとき彼は悟ったのだ、自分が何を失ったのかを。

誕生日の体操仲間をちょっとしたことで驚かすのは、とても誇らしいことである。われわれは1月7日に、収容所体操クラブの創設者であるクレメンス・フェルヒネロウスキーの誕生祝いをした。チーム全員で太いまん丸のソーセージと何本かの葉巻と一本のビールを渡して、お祝いを述べた。これらの贈り物をささやかな朝食とすることで、ドイツ男の力を守ってほしいと頼んだ。彼の部屋の壁紙を震わせ、ドイツ体操クラブの誓いを叫んだ。並みでない歌声にびっくりし、フェルヒネロウスキーの分隊仲間も集まって来て、首を振ってくれた。

仲間のフレンダーを1月20日の彼の誕生日に、チームのコーヒーパーティーに招いた。場所は、仲間のオスカー・マイと彼の友人であるシュルツの夏の家だった。ドイツ体操クラブと、男らしい勇気と力を讃える言葉に続いて、仲間の一人がフレンダーのこの日を祝う歌を作った。

ゲート・ハイル！あなたの誕生日に！

あなたのすべてが最良でありますように。

ゲート・ハイル！栄(は)えある体操

いつも誠実で、元気で楽しく自由に！

ゲート・ハイル！ドイツ体操に、

男らしい勇気と力にも。

グート・ハイル！ドイツ体操に、
自由であろうと、捕らわれの身であろうと。

2月13日は、仲間のオイヒラーの誕生日だった。彼にもわれわれというか、われわれ自身のサークルからフェルヒネロウスキーがいくつかの詩を作った。それが祝辞に代えて散文と歌で披露された。

I. 誕生日を迎える人に

ようこそわれわれの仲間
今日は君の誕生の日、
何よりも前からの体操選手の席を差し上げよう
クラブとしてこぞってこの日を祝うために！

願う、皆が健康で幸せであることを
苦しい時代の誠実な友として、
そしていつか君は故郷に帰る、
そのときこの日の楽しさを思い出すように。

今日は楽しく杯を交わそう
そして何よりも歌を歌おう、
ここから敵陣に進んでいこう
誕生日の人を讃えるために。

.....

II. グート・ハイル！今日はあなたを仲間と呼ぼう！

あなたはいつもおれたちと一緒に体操を楽しんできた！

グート・ハイル！

困難で苦しい時代だ信念を貫け！

けっして楽しみを忘れるな！

信念を貫け！

栄(は)えある体操に忠実であり続けよう！

君のお好みの言葉は、元気で楽しくとらわれないことだ！

そうあり続けよう！

いつも友とともに懸命に体操と取り組もう！

健康は勇気に値する！

いつも体操と取り組もう！

心配が襲ってきても耐えよう！

やがて故郷での出会いがやって来る！

耐えよう！

誕生日にグート・ハイル！

この盃を空になるまで飲もう！

グート・ハイル！

この日のわれわれの体操者気分のすばらしい模写を、フェルヒネロウス
キーは次のような替え歌で行っている。

体操選手、それは勇気ある人々であり

体操は力強く喜びに満ちている

生きる勇気と力を示そう。

そのために体操選手の気位を持とう。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

ここでは捕らわれていても
人の力は磨かれる。
人数はさほどでなく、
10人ほどでしかない。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

けれども10人は誠実だ
栄えある体操に立ち向かっている。
だから私は、ここで名前を挙げよう、
彼らを失わないために。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

初めにオイヒラーがいる
彼は元気で、楽しくとらわれない、
きちんといろいろの体操をこなす。
めざすのは「立派に演技すること」だ

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

そしてムックスは跳ぶ人だ、
とがった顎髭を生やして屈伸跳びをし
ものおじせずに倒立する、
けっして退屈させることはない。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

さて、イケメンのフォーラントの出番！

体操仲間にとやかく言わせない。

ハリケーンのように演技する、

もう教会の塔から跳んだ。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

フェルヒネロウスキーはユーモラスだ

長いこと鞍馬に誠意を尽くしている。

彼はいつも鉄棒を友としている、

たとえ開脚跳びに失敗しても。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

フレンダーは第2の人と呼ばれている；

久留米からやって来た。

エレガントに軽々と演技するが、

静止がまだまだだ。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

そう立派な6番手だが

残念ながら臆を痛めている。

名前はヴォルフという、

力強く筋肉質で小さくない。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

通称クッデルのマイを知らない人はいない、

鉄棒では思い切ったことをする。

いつも最大限の努力をする；
 スポーツの天才として有名だ。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

稲妻のような演技をしているのは
 ちびのフェッターではないか？
 彼が苦勞するのは鞍馬の両足交差だけだ、
 いつも両脚がくつついたままだ。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

体操は上手だがチームで一番小さい彼は、
 たいていあっさり演技してしまい、
 チームをいつも調子づかせる。
 だから彼はかのヘルマン・ルフと呼ばれている。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

和合が支配しているそこでは、
 チームはいつでもうまくいっている。
 だからしっかりした絆で結ばれている
 祖国のドイツから遠く離れても。

ヤッホー、ヤッホ、ヤッホー

オイヒラー曹長自身は、この日のことなどを記している。

1919年1月13日には、われわれチーム仲間を書き尽くせないような喜びを準備してくれた。驚きのあまり私はわれを忘れた。朝早くにもう、ムッ